

平成23年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年1月14日

上場取引所 大

上場会社名 シンワアートオークション株式会社
 コード番号 2437 URL <http://www.shinwa-art.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 倉田 陽一郎

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 益戸 佳治

TEL 03-3520-0066

四半期報告書提出予定日 平成23年1月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年5月期第2四半期の業績(平成22年6月1日～平成22年11月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年5月期第2四半期	554	42.0	57	—	54	—	47	—
22年5月期第2四半期	390	△24.5	△135	—	△135	—	△155	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年5月期第2四半期	857.64	—
22年5月期第2四半期	△2,845.31	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年5月期第2四半期	2,094	1,245	59.4	22,669.12
22年5月期	1,843	1,196	64.8	21,811.30

(参考) 自己資本 23年5月期第2四半期 1,244百万円 22年5月期 1,194百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00
23年5月期	—	0.00	—	—	—
23年5月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年5月期の業績予想(平成22年6月1日～平成23年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	843	14.4	8	—	8	—	5	—	107.33

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注)簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年5月期2Q 57,979株 22年5月期 57,879株

② 期末自己株式数 23年5月期2Q 3,098株 22年5月期 3,098株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年5月期2Q 54,879株 22年5月期2Q 54,778株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表時現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表時における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(第2四半期累計期間)	6
(第2四半期会計期間)	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4. 補足情報	9
(1) 生産、受注及び販売の状況	9

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期会計期間(平成22年9月1日～平成22年11月30日)におけるわが国の経済は、米国景気の上昇やアジア新興諸国の経済拡大を背景として輸出関連業種を中心に回復基調の動きを見せましたが、雇用環境や所得環境の改善は遅々として進まず、また前半には円高が急激に進むなど、依然として先行き不透明感が拭えない状況にあります。

このような環境の下、当社は引き続き徹底したコスト管理のもと高額美術品を中心とした優良作品のオークションへの出品及び富裕層を中心とした美術品コレクターのオークションへの参加促進に努めてまいりました。

前事業年度後半から、落札単価は下げ止まりの傾向にあり、出品点数も回復の兆しを僅かながら見せておりましたが、第1四半期会計期間に続き、当第2四半期会計期間においても当社主力部門である近代美術での出品点数の増加と落札単価の上昇により、取扱高合計が当初予想を上回ることとなり、その結果、取扱高1,472百万円(前第2四半期比28.9%増)と大幅に伸長することができました。売上高は302百万円(前第2四半期比4.0%減、内商品売上高26百万円(前第2四半期比63.5%減))と減少となりましたが、これは商品売上高の減少によるものであり、売上総利益は222百万円(前第2四半期比27.9%増)と大幅に伸長することができました。

当第2四半期のオークション開催数は前第2四半期に比べ2開催減少の10回でありましたが、出品点数は前第2四半期比で23.9%増となり取扱高も増加となりました。

利益面におきましては損益改善活動の効果により、販売費及び一般管理費を当初の計画どおりに抑えることが出来たため、計画を大幅に上回る結果となり、当第2四半期会計期間では経常利益67百万円(前第2四半期会計期間は13百万円の経常損失)、四半期純利益68百万円(前第2四半期会計期間は28百万円の四半期純損失)となりました。

なお平成23年5月期第1四半期に係る経営成績に関する定性的情報につきましては、平成23年5月期第1四半期決算短信(平成22年10月12日開示)をご参照ください。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第2四半期会計期間末の流動資産は前事業年度末に比べて15.4%増加し、2,007百万円となりました。これは主に現金及び預金の増加329百万円、オークション未収入金の増加153百万円及び商品の増加55百万円と、前渡金の減少245百万円によるものであります。

当第2四半期会計期間末の固定資産は前事業年度末に比べて16.8%減少し、86百万円となりました。これは主に投資その他の資産のその他の減少12百万円によるものであります。

この結果、総資産は前事業年度末に比べて13.6%増加し、2,094百万円となりました。

(負債)

当第2四半期会計期間末の流動負債は前事業年度末に比べて32.5%増加し、828百万円となりました。これは主にオークション未払金の増加293百万円と短期借入金の減少121百万円によるものであります。

当第2四半期会計期間末の固定負債は前事業年度末に比べて4.8%減少し、21百万円となりました。これは退職給付引当金の減少によるものであります。

この結果、当第2四半期会計期間末の負債合計は前事業年度末に比べて31.3%増加し、849百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は前事業年度末に比べて4.1%増加し、1,245百万円となりました。これは主に当第2四半期累計期間純利益の47百万円によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は第1四半期会計期間末より548百万円増加し、825百万円となりました。当第2四半期会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は481百万円(前第2四半期比61.4%増)となりました。これは主に税引前当期純利益68百万円とオークション未払金の増加による増加489百万円及び前渡金の減少による増加36百万円に対し、オークション未収入金の増加による減少34百万円及びたな卸資産の増加による減少133百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は13百万円(前第2四半期は8百万円の獲得)となりました。これは主に保証金の返還収入3百万円及び定期預金満期解約による収入75百万円、定期預金の預入による支出90百万円及び固定資産の取得による支出1百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は80百万円(前第2四半期は支出・収入なし)となりました。これは短期借入による

ものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

現時点で平成23年5月期の業績予想につきましては、平成22年7月9日に公表しました業績予想から変更はありません。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、当第2四半期累計期間の営業利益、経常利益は、それぞれ784千円減少しており、税引前四半期純利益は9,010千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による敷金及び保証金の変動額は8,225千円です。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年11月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,100,548	771,530
売掛金	5,850	—
オークション未収入金	209,909	56,220
商品	365,581	310,363
前渡金	298,696	544,396
その他	27,466	57,013
貸倒引当金	△241	△69
流動資産合計	2,007,811	1,739,454
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	19,851	24,471
車両運搬具(純額)	2,932	2,787
工具、器具及び備品(純額)	3,552	4,358
有形固定資産合計	26,337	31,617
投資その他の資産		
その他	123,099	135,640
貸倒引当金	△63,073	△63,490
投資その他の資産合計	60,025	72,149
固定資産合計	86,362	103,767
資産合計	2,094,174	1,843,222
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,539	439
オークション未払金	496,038	202,901
短期借入金	239,000	360,000
未払法人税等	2,920	3,341
賞与引当金	20,167	13,698
その他	64,405	44,413
流動負債合計	828,070	624,793
固定負債		
退職給付引当金	21,000	22,050
固定負債合計	21,000	22,050
負債合計	849,070	646,843

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年11月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	780,221	779,125
資本剰余金	384,971	383,875
利益剰余金	166,767	119,700
自己株式	△87,856	△87,856
株主資本合計	1,244,103	1,194,844
新株予約権	1,000	1,533
純資産合計	1,245,103	1,196,378
負債純資産合計	2,094,174	1,843,222

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成21年6月1日 至平成21年11月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年11月30日)
売上高	390,445	554,350
売上原価	186,518	206,522
売上総利益	203,926	347,828
販売費及び一般管理費	339,250	290,445
営業利益又は営業損失(△)	△135,323	57,383
営業外収益		
受取利息	596	256
受取保険金	—	695
受取査定報酬	798	109
受取保管料	—	1,011
その他	726	307
営業外収益合計	2,121	2,381
営業外費用		
支払利息	—	1,426
為替差損	2,365	3,274
その他	0	227
営業外費用合計	2,365	4,928
経常利益又は経常損失(△)	△135,567	54,835
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	245
新株予約権戻入益	—	722
未払配当金戻入益	298	561
特別利益合計	298	1,528
特別損失		
固定資産売却損	—	510
退職特別加算金	1,404	—
事務所移転費用	18,507	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	8,225
特別損失合計	19,911	8,735
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△155,180	47,628
法人税、住民税及び事業税	680	562
法人税等合計	680	562
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△155,860	47,066

(第2四半期会計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期会計期間 (自平成21年9月1日 至平成21年11月30日)	当第2四半期会計期間 (自平成22年9月1日 至平成22年11月30日)
売上高	314,658	302,100
売上原価	141,104	80,055
売上総利益	173,554	222,044
販売費及び一般管理費	187,176	155,499
営業利益又は営業損失(△)	△13,621	66,545
営業外収益		
受取利息	157	93
為替差益	—	633
受取保険金	—	695
受取査定報酬	706	50
その他	267	168
営業外収益合計	1,130	1,641
営業外費用		
支払利息	—	322
為替差損	1,195	—
その他	—	364
営業外費用合計	1,195	687
経常利益又は経常損失(△)	△13,686	67,499
特別利益		
新株予約権戻入益	—	1,669
特別利益合計	—	1,669
特別損失		
固定資産売却損	—	510
退職特別加算金	1,404	—
事務所移転費用	13,400	—
特別損失合計	14,804	510
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△28,490	68,658
法人税、住民税及び事業税	340	340
法人税等合計	340	340
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△28,830	68,318

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成21年6月1日 至 平成21年11月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成22年6月1日 至 平成22年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△155,180	47,628
減価償却費	6,250	6,672
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	9,038	△245
賞与引当金の増減額 (△は減少)	9,275	6,468
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△2,500	△1,050
受取利息及び受取配当金	△596	△256
支払利息	—	1,426
為替差損益 (△は益)	2,216	2,417
有形固定資産売却損益 (△は益)	—	510
売上債権の増減額 (△は増加)	23,413	△5,850
オークション未収入金の増減額 (△は増加)	△74,638	△153,689
たな卸資産の増減額 (△は増加)	22,319	△55,217
前渡金の増減額 (△は増加)	△51,369	245,699
仕入債務の増減額 (△は減少)	△20,450	5,100
オークション未払金の増減額 (△は減少)	257,765	293,137
未収消費税等の増減額 (△は増加)	17,583	11,612
その他	△54,655	46,718
小計	△11,528	451,083
利息及び配当金の受取額	833	396
利息の支払額	—	△1,582
法人税等の支払額	△1,485	△632
営業活動によるキャッシュ・フロー	△12,180	449,265
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△10,237	△1,902
定期預金の預入による支出	△225,000	△175,000
定期預金の払戻による収入	195,000	220,000
差入保証金の差入による支出	△15,375	△339
差入保証金の回収による収入	26,669	3,398
その他	—	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△28,943	46,157
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	△121,000
株式の発行による収入	125	2,150
配当金の支払額	—	△300
財務活動によるキャッシュ・フロー	125	△119,150
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,743	△2,254
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△42,742	374,018
現金及び現金同等物の期首残高	767,594	451,530
現金及び現金同等物の四半期末残高	724,852	825,548

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当社は、主に美術品を対象としたオークション運営事業を行っており、生産実績の記載はしていません。

(2) 受注実績

当社は、受注生産を行っていませんので、受注実績の記載はしていません。

(3) 販売実績

	当第2四半期会計期間 (自 平成22年9月1日 至 平成22年11月30日)							
	取扱高 (千円)	前年同 四半期比 (%)	売上高 (千円)	前年同 四半期比 (%)	オークション 開催数(回)	オークション 出品数(点)	オークション 落札数(件)	落札率 (%)
近代美術オークション	962,830	70.1	184,052	75.0	2	314	273	86.9
近代陶芸オークション	81,045	36.2	22,092	△4.5	1	289	267	92.4
近代美術Part II オークション	88,830	38.6	21,649	12.0	2	571	531	93.0
その他オークション(注)1	330,226	△12.6	64,601	△32.5	5	1,384	1,048	75.7
オークション事業合計	1,462,931	37.1	292,396	20.2	10	2,558	2,119	82.8
プライベートセール	6,660	△90.5	6,496	△90.1				
その他	2,462	△42.0	3,207	△45.5				
その他事業合計	9,122	△87.8	9,704	△86.4				
合計	1,472,053	28.9	302,100	△4.0				

(注) 1. その他オークションの開催については、出品の状況により随時開催しております。当第2四半期会計期間(平成22年9月1日～平成22年11月30日)は、Bags/Jewellery&Watchesオークション1回、西洋美術オークション1回、ワインオークション1回、浮世絵オークション1回、長谷川利行コレクション1回を開催しております。

2. 本表の金額には、消費税等は含まれておりません。

3. 当社の事業構造として、オークションが第2四半期及び第4四半期に多く開催される傾向があるため、四半期会計期間別の業績には季節的変動があります。